

電源タップやコンセント、電源プラグの気をつけるポイント

(平成 29 年 1 月 30 日作成)

○接続可能な最大消費電力を超えて使用しない

コンセントやテーブルタップには接続可能な消費電力が定められています。電気製品を接続する際は、最大消費電力を超えないように注意してください。

コードリールは、電源コードを全て引き出して使用するものと、電源コードを引き出した状態と収納した状態とで接続可能な最大消費電力が異なるものがあります。使用するときは、確認してください。



合計1500ワットまで

○電気ストーブやエアコンなど消費電力の大きな機器に延長コード等は使用しない

消費電力の大きな電気製品の中には、延長コードやテーブルタップ等の使用を禁止している製品があります。エアコンも始動時に大電流が流れることがあるため、延長コード等は使用しないでください。

電気製品の消費電力の目安 (NITE 作成、単位:ワット (W))

- ・電気ストーブ 200~800W
- ・電気温風暖房機 600~1200W
- ・電気こたつ 500W
- ・電子レンジ 1500W
- ・ホットプレート 1300W
- ・電気ケトル 1200~1400W

○電源プラグはコンセントにしっかりと差し込み、定期的にほこりを掃除する

電源プラグとコンセントとの間に隙間があったり、長期間コンセントを差したままにしていたりすると、プラグに異物の接触やほこりや水分が付着し、ショートやトラッキング現象が生じるおそれがあります。

○コンセントや電源タップ内部への水分や異物の浸入に注意する

水分や洗剤などが浸入するとショートやトラッキング現象が生じるおそれがあります。延長コードやテーブルタップ等は水槽の周囲や台所、洗面所など水がかかる場所での使用は避けてください。

※コンセントや延長コード、テーブルタップでは、ほこりや液体、異物が入り込まないように差込口にシャッターがついたもの、またコンセントカバーも販売されています。

トラッキング現象の仕組み

コンセントや延長コード、テーブルタップ等に電源プラグを長期間差し込んだままにしているとほこりや水分が付着します。ほこりや水分によって、電源プラグの栓刃の間に電流が流れる状態となって火花放電を繰り返します。それによって電源プラグの樹脂部分が炭化し、発火に至る現象を「トラッキング現象」といいます。

